

問1 室町時代に足利義満が行った日明貿易において、正式な貿易船と倭寇（海賊）を区別するためにとられた方法はどれですか。

（2024年 鳥取公立入試 類似）

1. 勘合（勘合符）という合い札を持参させた
2. 甲骨文字を刻んだ亀の甲羅を証明書とした
3. 遣隋使の際と同じ形式の国書を必ず持参させた
4. 南京条約に基づき、特定の開港場でのみ取引を行った

問2 中世の日本において、商人や手工業者が公家や寺社などの権力者に税を納める代わりに、営業の独占権や保護を受けるために結成した同業者団体を何とといいますか。（2021年 岐阜公立入試 類似）

1. 座
2. 株仲間
3. 惣
4. 間屋

問3 室町時代に中国の明へ渡って本格的な絵画技法を学び、墨一色の濃淡によって自然や風景を表現する画風を日本において大成させた画僧は誰ですか。（2015年 大分県公立入試 類似）

1. 雪舟
2. 狩野永徳
3. 菱川師宣
4. 葛飾北斎

問4 1428年に近江（滋賀県）から始まり、京都や奈良など広範囲に広がった「正長の徳政一揆」に関する説明として、当時の社会状況を正しく述べているものはどれですか。（2020年 静岡公立入試 類似）

1. 幕府が公式に徳政令を出さなかったため、人々は土倉などを襲って自ら借金証文を破棄した
2. 織田信長が楽市・楽座を導入したことに反対した商人が、寺院と協力して起こした
3. 元寇による軍役の負担に耐えきれなくなった御家人たちが、借金の免除を求めて蜂起した
4. キリスト教徒が団結し、重い年貢を課す領主に対して武器を持って反抗した

問5 「二条河原の落書」には、当時の京都で「繪旨（りんじ）」が乱発され、社会が混乱している様子が記されています。この「繪旨」とはどのようなものですか。その性質として正しい説明を選びなさい。（2021年 和歌山公立入試 類似）

1. 後醍醐天皇が自らの意向を直接伝えるために出した命令書
2. 鎌倉幕府の執権が武士の土地裁判のために定めた法律
3. 室町幕府が借金を帳消しにするために出した法令
4. 平氏が貴族の反乱を抑えるために出した軍事的な指令

問6 室町時代の社会において、物資の流通や経済活動に従事した人々の説明として、当時の「馬借」の活動を正しく説明しているものはどれですか。（2018年 千葉県公立入試 類似）

1. 町や川港に居住し、船を利用した水上輸送や商品の保管を行った
2. 馬を利用して陸上の物資輸送を担い、時には徳政一揆の中心勢力にもなった
3. 幕府や公家に税を納める代わりに、商品の販売や製造の独占権を得た
4. 都市部で質屋を営み、武士や民衆を対象に高利で金銭を貸し付けた

問7 室町幕府の三代将軍である足利義満が行った対外政策と、その貿易の背景について述べた文として、最も適切なものを選択してください。（2017年 愛知公立入試 類似）

1. 幕府の財政を潤すため、明の皇帝に従う形式をとって倭寇を鎮圧することを約束し、貿易を行った。
2. 元との戦いによる恩賞問題に対応するため、博多の石垣を拠点に大陸との活発な民間貿易を推奨した。
3. 鎖国体制を維持しながらも、出島におけるオランダや清との貿易を幕府の直轄とした。
4. 南蛮文化を取り入れるため、キリスト教の布教を認める代わりに明から大量の銀を輸入した。

問8 室町時代に惣村が発達し、農民たちが強い団結力を持つようになった背景として、当時の村の運営実態について述べた文として最も適切なものはどれですか。（2017年 岡山公立入試 類似）

1. 灌漑用水の管理や入会地の利用を共同で行う必要があり、農民同士が連帯して領主と交渉した。
2. 江戸幕府の五人組制度によって、農民が相互に監視し合いながら年貢を納める仕組みが作られた。
3. 武士が土地を直接支配する地頭請が普及したため、農民は武士の指示に従ってのみ村を運営した。
4. 商業の独占権を持つ「座」が村を統治し、農民は商人たちの許可を得て農業を行った。

問9 15世紀に尚氏が統一し、アジア諸国との交易で繁栄した琉球王国のその後の動向について、17世紀初頭に起きた出来事の説明として正しいものはどれですか。（2020年 高知公立入試 類似）

1. 島津氏が率いる薩摩藩の侵攻を受け、その支配下に入れられた。
2. 宗氏が率いる対馬藩の侵攻を受け、日本との独占的な貿易窓口となった。
3. 豊臣秀吉の軍勢による攻撃を受け、首里城が落城して完全に滅亡した。
4. 江戸幕府の鎖国政策により、すべての海外貿易を禁止された。

答え合わせ・解説

| | | |
|----|---|--|
| 問1 | 答え 1 勘合（勘合符）という合い札を持参させた | 足利義満は明の皇帝から「日本国王」として認められ、朝貢の形式で貿易を行いました。この際、当時沿岸部で活動していた倭寇による密貿易を防ぐため、明から交付された「勘合」と呼ばれる札を照らし合わせて、正当な貿易船であることを確認する仕組みが導入されました。 |
| 問2 | 答え 1 座 | 平安時代から室町時代にかけて発達した、商工業者の組織についてです。特定の公家や寺社（本所）と結びつくことで、市場での独占販売権や、交通の要所に設置された関所の通行税免除といった特権を得ていました。江戸時代に幕府から営業の独占を認められた「株仲間」とは、時代背景や保護者が異なる点に注意が必要です。 |
| 問3 | 答え 1 雪舟 | 室町時代の東山文化を代表する人物です。遣明船を利用して明に渡り、大陸の高度な技法を習得しました。帰国後はそれまでの日本の伝統的な画風に中国の様式を融合させ、日本独自の水墨画の様式を確立しました。選択肢にある狩野永徳は桃山時代の障壁画、菱川師宣や葛飾北斎は江戸時代の浮世絵で知られる人物です。 |
| 問4 | 答え 1 幕府が公式に徳政令を出さなかったため、人々は土倉などを襲って自ら借金証文を破棄した | 正長の徳政一揆では、代がわりの徳政（将軍が交代する際の債務免除）などを期待した民衆が、幕府がなかなか徳政令を出さないことにしびれを切らし、自分たちで土倉や酒屋、寺院を襲撃しました。当時の奈良の大乗院日記などの記録には、一揆の勢いが凄まじく、日本が始まって以来の出来事であるといった記述が残されています。結果として、幕府は公式な徳政令を出せませんでした。人々は実力で借金を帳消しにしました。 |
| 問5 | 答え 1 後醍醐天皇が自らの意向を直接伝えるために出した命令書 | 建武の新政において、後醍醐天皇はそれまでの先例や慣習を否定し、すべての物事を天皇の直接の意志である「綸旨」によって決定しようとしていました。しかし、土地の所有権などをめぐって内容の矛盾する綸旨が次々と出されたことが、武士たちの大きな混乱と反感を買う原因となりました。 |
| 問6 | 答え 2 馬を利用して陸上の物資輸送を担い、時には徳政一揆の中心勢力にもなった | 馬借は交通の要所に集まって組織化されていたため、強い団結力を持っていました。そのため、凶作や借金に苦しむ農民たちが徳政（借金の帳消し）を求めて起こした「土一揆（徳政一揆）」の際には、その輸送網や組織力を活かして一揆の先導役や中心勢力として活動しました。他の選択肢は、それぞれ「問（問丸）」「座」「土倉」に関する説明です。 |
| 問7 | 答え 1 幕府の財政を潤すため、明の皇帝に従う形式をとって倭寇を鎮圧することを約束し、貿易を行った。 | 足利義満は、明の皇帝から「日本国王」の称号を受ける（朝貢形式）ことで、正式な国交を樹立しました。明側は自国の沿岸を脅かす倭寇の取り締まりを日本側に求めており、義満はこれに応じる形で多大な利益を生む貿易を独占し、幕府の財政基盤を強化しました。この貿易は、明が「元」を倒した後の時代に行われたものであり、石垣による防衛戦（元寇）とは時代背景が異なります。 |
| 問8 | 答え 1 灌漑用水の管理や入会地の利用を共同で行う必要があり、農民同士が連帯して領主と交渉した。 | 惣村が発達した大きな要因は、農業生産を維持するために不可欠な「水（灌漑用水）」や、肥料・燃料を得るための山林（入会地）の管理を共同で行う必要があったことです。この共同作業を通じて農民の結束が強まり、個々の農民では太刀打ちできない領主に対しても、村全体として年貢の減免を求めたり、村請（年貢の納入を村全体で請け負うこと）を行ったりする自治能力が備わっていました。 |
| 問9 | 答え 1 島津氏が率いる薩摩藩の侵攻を受け、その支配下に入れられた。 | 琉球王国は、1609年に九州の薩摩藩（島津氏）による軍事侵攻を受けました。これ以降、琉球は中国（明や後の清）との朝貢関係を継続して王国としての体裁を保ちつつも、実質的には薩摩藩と江戸幕府の支配下に組み込まれるという、複雑な二重の外交・支配体制を経験することになります。対馬藩は主に朝鮮との外交を担っていたため、琉球とは関係が異なります。 |